

★森のおはなし探検隊★

6月のテーマは『アニマル・ビンゴゲーム』

紙と鉛筆を持って園内を散策！

園内の動物たちを、みんなで楽しく観察しませんか？

子どもから大人まで、多くの方の参加をお待ちしています。

開催日時：6月8日(日) 13:00～

集合場所：子どもホール 2階

参加費：無料(別途要入園料)・事前申込不要



☆ニシキヘビのタッチタイム☆

期間中の日曜日 14:00～14:30

里のいきもの館レクチャールームにて
体長およそ1メートル以上ものポールニシキヘビが登場！さわってみるもよし、首に巻いて記念写真を撮るもよし！

意外にさらさらして気持ち良いと大評判です。

★毎年好評のため、七夕フェア期間中以外の6月～9月の日曜日、祝日も同会場、同時間に実施！

天候などの都合により変更・中止することがあります。どうぞご了承下さい。
詳しくは、HPもしくは到津の森公園(651-1895)まで、お問合わせ下さい。

森の仲間たち



「到津の森公園」公園事務所
北九州市小倉北区上到津 4-1-8
Tel 093-651-1895 〒803-0845
<http://www.itozu-zoo.jp/>

森のお便り 6月号 2014年

発行・編集 「到津の森公園」「森の仲間たち」14年6月1日発行 通巻136号

恋心 6月23日(月)～7月7日(月)

フェア期間中毎日(火曜休園) 9:00～17:00

管理センター2階 ロビーにて



動物型やハート型の短冊を用意しています。
かわいい短冊に想いを込めて、星に願いをかけましょう。

☆星に願いを…☆

期間中 9:00～17:00
管理センター2階ロビーにて

動物型とハート型の短冊を用意しています。
かわいい短冊に想いを込めて、
星に願いをかけましょう。



☆動物に笹のプレゼント！☆

期間中の日曜日 15:00～プレゼント
ヤギのエサ売場にて短冊配布

ヤギのエサ売場で、野菜で作った短冊を配ります。
ヤギ、ロバ、ニホンザルの3種類の動物から
好きな動物を選んで、各獣舎前に設置した笹に
野菜の短冊をつるそう！

短冊で飾りつけられた笹は、午後3時から動物たちに
プレゼントします。
どんな反応を見せてくれるのか、お楽しみに！

七夕フェア

緑したたるの言葉そのまま、色濃くこんもり茂る到津の森。その木陰に寄る時のひんやりとした風も嬉しい6月となりました。だらだら坂の散策路をゆっくりたどると、今年も南の国からやってきましたと、時鳥(ホトギス)の声が聞こえて、騒音激しい国道沿いにいる事を忘れてしまっています。

さて日傘を開き動物ゾーンに入ってゆくと、多くの外来雑種が我が世を謳歌。とりどりの小さな花が目に入ってきました。その中で今月思わず見入ってしまったのは、懐かしいオオニワゼキショウです。名前は知らなくても写真でも見れば誰でも「アーあれね」と言われるでしょう、ありふれた花。扁平でたおやかな茎は少し傾いで草丈25~50センチ。陽射しに映る濁りのない水色(花径8~10ミ)、ガラスのような透明感のある丸い実(径5~6ミ)は個性的。

昔々の子供時代、おしゃれさんねと思ったものです。母にお土産に持って帰ろうとすると、すぐにしぼんでしまう残念な花とも感じていました。そしてこの何処にでもある花は、とても似ているけれどちょっと違う姿の花も混じって生えているなど思いました。

オオニワゼキショウより、スルスンしっかりした姿のニワゼキショウでした。草丈は低めの10~20センチ、花は径10~13ミと大きめの赤紫色。花の中心は黄色でその周りを飾る紫色の帯もくっきり。6枚の花びらのうち、3枚は縦筋1本、3枚はあまり目立たない縦筋数本。この筋はオオニワゼキショウには見あたりません。そしてあの個性的な丸い実は径3ミリなのです。

図鑑をみると両者とも、白花あり、個体差あり、交雑ありで、同定するのはとても難しいようです。ましてや園芸家の方々により新しい品種も作られているとの事です。

先日夜須高原に出かけてゆくと、オオニワゼキショウ・ニワゼキショウの集団に混じって、より一層草丈低く、姿は同じでホタルカズラのような真っ青な花を付けたものも混在していました。

さてあれは何だったのか。

まあ、園内の芝生にゆっくり腰を下ろし、名もなき(実はあるのだ!)草花たちの陣取合戦を眺めてみませんか。森の木々の葉を揺らした風があなたのそばを通り過ぎる「到津の森公園」です。

文:花咲くおばさん

花暦 水無月

森のなかま・タイヨウとミナミ

なかよし広場の人気者たち

2014年3月9日、到津の森公園に新たに2つの命が誕生しました。双子のヤギの赤ちゃんです。お母さんヤギの名前が『ヒナタ』なので、「温かそうな名前がいいね」ということで、男の子を『タイヨウ』、そして女の子を『ミナミ』と名づけました。

さて、このタイヨウちゃんとミナミちゃん、最初はお母さんにベッタリでなかなか触ることも出来ませんでした。根気よくミルクをあげたり、お母さんと一緒にいるところをお客様にみてもらったりしているうちに、少しずつ人を怖がらなくなってきました。

そうすると、「さあ次はなかよし広場デビューだ!」となるのですが、これがまた大変で、母も子もお互いの姿が見えなくなるとすぐ鳴くのです。それはもう悲しげにメーメーと…。あまり鳴き続けると、我々スタッフもお客様も悲しい気持ちになってしまいますので、少しずつ親子を離す時間を長くしていくという方法を取りながら、現在に至りました。

そんな2人も、今では立派になかよし広場の人気者として過ごしています。

皆さんも、ぜひカワイイ2人に会いに来てくださいね。



飼育展示係 川端 徹